



● 草の根パートナー型

2017年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ラオス人民民主共和国
2. 事業名	ラオス北部地域の教員養成校指導教官の能力強化を通じた、複式学級運営改善事業
3. 事業の背景と必要性	ラオス北部地域は、ラオス全土の中で複式学級を採用する小学校の割合とラオス語を母語としない少数民族割合が高い地域である。そのため、当該地域の教員は複式学級の運営技術やそのための教材を必要としている。にもかかわらず教員養成校では複式学級運営の経験・知識不足および体系的な指導手引きなどの教材不足から、複式学級運営とその学習指導が十分になされていない状況である。
4. プロジェクト目標	北部地域一般教員養成校の複式学級運営に関する指導の仕組みが強化される。
5. 対象地域	ルアンパバーン県（ポントン郡、バクセン郡）、ルアンナムター県、シェンクワン県
6. 受益者層（ターゲットグループ）	北部地域の3つの一般教員養成校教官（ルアンパバーン、ルアンナムター、カンカイ）、ルアンパバーン県ポントン郡・バクセン郡の小学校教員と児童、ルアンパバーン県教育スポーツ局、ポントン郡およびバクセン郡教育スポーツ事務所、教育スポーツ省
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育スポーツ省、教員養成校との協働（Collaboration）によって、複式学級運営を円滑に進めるための教材が開発される。 2. 教員養成校教官の（開発した教材を用いた）指導により、パイロット郡の教員が複式学級の基本的運営方法を理解する。 3. 教材開発・研修の協働実施および本邦・国内研修を通じて、複式学級運営改善のための教員養成校教官の能力が強化される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「複式学級運営の手引き」、「手作り教材作成事例集」、「言語習得教育に即した改良版フラッシュカード」の開発、印刷 2. パイロット2郡での複式学級運営研修会の実施、研修会後の教員への実地指導 3. 教員養成校教官及び行政官の訪日研修、先行事業地研修、教員養成校における同事業成果導入のための計画作成及び実施確認会議
8. 実施期間	2018年8月～2022年5月（3年10ヵ月）
9. 事業費概算額	91,602千円
10. 事業の実施体制	<p>日本側：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会ラオス事務所、東京事務所</p> <p>ラオス側：ラオス北部の3つの教員養成校、ラオス教育スポーツ省（一般教育局、教師教育局、国立教育研究所）、ルアンパバーン県教育スポーツ局、ポントン郡・バクセン郡とヴィエンカム郡の教育スポーツ事務所</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
2. 活動内容	学校建設、図書館活動、絵本出版活動、幼児教育支援、緊急救援